

花咲く明日を

～ 吉浜小学校だより ～



高浜市立吉浜小学校
令和6年10月16日 No.51

高浜シティマラソン



来年1月26日、高浜中学校を会場にして高浜シティマラソンが行われます。

本校では寒くなる季節に合わせて体育の時間に持久走に取り組んでいます。持久走は、速く走ることができる子は大好きですが、速く走ることができない子にとっては嫌な時間、苦しい時間になりがちでした。私たちは、順位よりも記録の伸びに目を向け、がんばればできる喜びを味わえるよう取り組んできました。しかし、やはり子どもですから、どうしても順位に目が向いてしまい、記録を大きく伸ばしているのに関わらず落ち込んでいる子がいるという状況が見られていました。

そこで、2年前からは体育の時間における持久走への取組を改めて考え、順位やタイムを目標とせず、楽しく走ること、長く走ることを目標とすることにしました。走る楽しさを見

参加者募集

●申込締切●2024年11月22日 まで

★スタート&ゴール
高浜市立高浜中学校グラウンド
自動計測システム採用

★申込・問い合わせ先
〒444-1325 高浜市青木町六丁目1番地15(地域交流館内たがひ苑)
電話・FAX 0566-52-3415
(土日祝含む/午前9時～午後6時)
E-mail tsc-06@katch.ne.jp

10kmの部	1.5kmの部
5kmの部	5kmジョギングの部
3kmの部	ラッキー賞あります

WEB掲載で

★主催 高浜市・高浜市教育委員会・NPO法人たがひ苑スポーツクラブ
★共催 高浜市観光協会・中川製紙社・高浜市上緑技研
★協力 高浜警察署・高浜市交通安全協会・高浜市交通安全指導員会・高浜市スポーツ協会・高浜市スポーツ推進委員会・高浜市ボート協会・高浜市ボートクラブ・高浜市ボート会・三河ペイントボールクラブ株式会社

つける。自分から走ろうと思える気持ちを高める。アンダーペースを見つける。こんな目標をもって5分間走など、自分に合ったペースを見つけ、歩かず走り切ることに取り組んできました。運動場の周回コースでの実施となりますので順位なども確認できません。子どもたちは安心して各自のペースで楽しく走っていました。

ただ、記録に挑戦したり、他人と競い合いたいという気持ちがある子もいると思います。そういった子どもたちにはぜひ「高浜シティマラソン」に参加し、力試しをしてほしいと思います。参加申し込みは10月15日(火)から始まっています。

花咲く明日を

～ 吉浜小学校だより ～

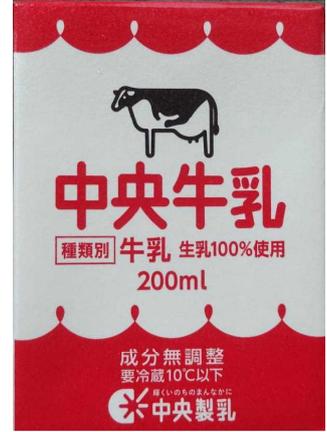


高浜市立吉浜小学校
令和6年10月18日 No.52

突然の変更にびっくり

子どもたちが楽しみにしていることの一つに給食があります。給食に毎日必ず出るものが牛乳。今週火曜日、子どもたちがざわざわしていました。そして、私のところにやってきて、「牛乳パックが変わった」、「どうして変わったのか」というようなことを聞いてきたのです。教室に届いていたパックを見せてくれましたが、これまでの青から鮮やかな赤になっていました。

この変更については私も全く知らなくて、赤い牛乳パックをあらためてよくよく見ていると、写真のような緑色の文字の表示があることに気づきました。「ボンスクロ認証を受けたサトウキビ」初めて聞く言葉でした。そこで調べてみました。「Link with SDGs」のHPには以下のような説明と図がありました。



(牛乳パックの)コーティングにサトウキビ由来の植物由来ポリエチレンを使用したことにより、再生可能資源比率は77%から99%まで高められ、容器に関わるバリューチェーン全体において約45%のCO2排出量削減が実現されます。今後、日本テトラパックが国内の学校給食へ供給する「テトラ・ブリック®」容器のうち、7割以上がサトウキビ由来の植物由来ポリエチレンの新包材に切り替わる見込みです。さらに、化石由来のプラスチックにとって替わることで年間1,100トンの化石由来のプラスチック削減につながり、環境省が掲げている2030年までにバイオマスプラスチックを約200万トン導入目標の達成や、ボンスクロ認証の植物由来プラスチックを使用することにより7つのSDGsの達成に貢献します。

栄養成分表示 1個(200ml)あたり

エネルギー	134kcal
たんぱく質	6.6g
脂質	7.6g
炭水化物	9.7g
食塩相当量	0.2g
カルシウム	227mg

〈中央製乳(株)調べ〉(推定値)



2023年よりポリエチレン部分にも植物由来原料が使用可能
テトラ・ブリック®容器全体の99%が再生可能資源に

テトラ・ブリック®容器
原材料構成比(重量ベース)



内外面ポリエチレンをサトウキビ由来原料に切り替える
ことで再生可能資源比率77%から**99%**を実現

容器に関わるバリューチェーン全体において
CO2排出量約23%削減



HPには中央牛乳をつくっている「中央製乳」もこのパックを採用したと紹介されていました。パック変更の理由はこれでした。

わたしたちの身近なところでも環境に配慮した取組、SDGsの取組が着実に進んでいることを実感する機会になりました。

栄養教諭の大村先生が、「新しいパックの前面(上写真右)の牛を見て気付くことはありませんか?」と。みなさん、いかがですか。

花咲く明日を

～ 吉浜小学校だより ～



高浜市立吉浜小学校
令和6年10月29日 No.53

修学旅行に行ってきました（第1日目）







天候にも恵まれ、子どもたちにとってはもちろん、わたしたち教員にとっても思い出に残る修学旅行になりました。今回は第1日目の様子を写真で紹介しました。次号では第2日目の様子を、そして、その次の号で子どもたちのすてきな行動を紹介したいと思います。保護者の皆さんには修学旅行の準備など、子どもたちを支えていただき、本当にありがとうございました。

花咲く明日を

～ 吉浜小学校だより ～



高浜市立吉浜小学校
令和6年10月30日 No.54

修学旅行に行ってきました (第2日目)





修学旅行第2日目も天候に恵まれました。「うぐいす張り」の床に感動した二条城。そのまばゆい金色に見とれてしまった金閣寺。そして、今年度から新たな目的地とした嵐山まで、京都を楽しむことができました。仲間とともに過ごした2日間が終わりに近づくにつれ、「まだ帰りたくない」という声も聞こえてきましたが、お迎えのご家族のみなさんを見つけた子どもたちは少しほっとした表情に見えました。



花咲く明日を

～ 吉浜小学校だより ～



高浜市立吉浜小学校
令和6年11月1日 No.55

修学旅行に行ってきました（最終号）



宿泊先の各部屋入り口の様子です。履き物がきちんと揃えられていて大変気持ちよかったです。当初揃っていなかった部屋でも「靴揃えよう」という声があがり、みんなが動いていました。お世話をしてくださった宿の方もよい気持ちになりましたことでしょうか。



夕食が終わった後、布団を敷くために食事のテーブルを廊下に出します。朝は食事のために廊下のテーブルを部屋に入れます。宿の方がやってくれるのですが、「手伝います」と。朝は宿の方が来られる前からテーブルを部屋に入れる班もありました。



法隆寺での昼食。隣では別の学校が一足先に食事をとっていました。メニューは同じカツカレーです。左上の写真は別の学校が帰った後のテーブルの様子。右上の写真は食器を片付ける係の方。係の方が大変そうに片付ける様子を見ていたからでしょうか、班ごとにカレーの器、コップ、おしぼりが集められ、この様子が学年全体に広まっていきました。係の方も仕事がやりやすかったと思います。また、帰り際に、「ありがとうございます」と係の方に声をかけて出て行く姿がみられました。中には「カツカレーおいしかったです」そんな声かけも聞かれました。



一泊二日という短い期間の中で、子どもたちのすてきな姿がたくさん見られました。子どもたちにはよいと思ったことはどんどんやっていくように話しています。「気づき、考え、そしてやってみる」です。学校の中では最高学年として下級生の手本となっていますが、学校の外に出て周りの人たちのことを考え、積極的に活動する姿を見て、6年生の子どもたちの確かな成長を実感しました。

奈良や京都の建造物や伝統・文化に触れ、日本の歴史を肌で感じる事ができたこと、そして、その中で人としていかに生きていくべきかを考え、進んで行動することができた6年生の子どもたちを誇らしく思います。